



RST コマンド

この章では、Cisco ONS 15454 SDH の RST（復元）コマンドについて説明します。

20.1 RST-<MOD2>

Restore（復元）（10GFC、10GIGE、1GFC、1GFICON、2GFC、2GFICON、CLNT、DIDVIDEO、DS3I、DV6000、E1、E3、E4、ESCON、ETRCLO、FSTE、G1000、GFPOS、GIGE、HDTV、ISC1、STM4、STM64、STM1、STM16、OCH、OMS、OTS、POS、STM1E、VC3、VC44C、VC38C、VC464C、VC48C、STS36C、VC4、VC416C、VC42C、VC43C、VC11、VC12）

使用上のガイドライン

ファシリティをサービスにプロビジョニングします。

プラットフォーム別にサポートされる修飾子については、[表 27-1 \(p.27-1\)](#) を参照してください。

カテゴリ

ポート

セキュリティ

メンテナンス

入力形式

RST-<MOD2>:[<TID>]:<AID>:<CTAG>:::[<PST>[,<SST>]];

入力例

RST-E1:CISCO:FAC-1-1:1:::UNLOCKED,AUTOMATICINSERVICE;

入力パラメータ

表 20-1 RST-<MOD2> 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID（「 25.1 ALL 」 [p.25-2] を参照）
PST	プライマリ ステート パラメータ タイプは PST（エンティティの現在の全体的なサービス状態）です。
<ul style="list-style-type: none"> Unlocked 	イン サービス
<ul style="list-style-type: none"> Locked 	アウト オブ サービス

表 20-1 RST-<MOD2> 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
SST	セカンダリ ステート パラメータ タイプは SST で、PST および PSTQ に関する補足情報を提供します。
• AutomaticInService	自動イン サービス
• Disabled	無効化
• Loopback	ループバック
• MismatchofEquipmentAlarm	機器およびアトリビュートのミスマッチ
• Maintenance	メンテナンス モード
• OutOfGroup	アウト オブ グループ
• SoftwareDownload	ソフトウェアのダウンロード中
• Unassigned	未割り当て
• NotInstalled	未装着

20.2 RST-EQPT

Restore Equipment (機器の復元)

使用上のガイドライン 機器をメンテナンス状態からイン サービス状態にプロビジョニングします。



(注) メンテナンス状態からイン サービス状態に移行中の機器にのみ適用されます。

カテゴリ 機器

セキュリティ メンテナンス

入力形式 RST-EQPT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>[::];

入力例 RST-EQPT:CISCO:SLOT-1:1;

入力パラメータ 表 20-2 RST-EQPT 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID (「25.1.11 EQPT」 [p.25-16] を参照)

